

# キャンプ砂防2020 in天竜川 開催概要

2020  
8/3 ▶ 8/7

中央・南アルプスなど3,000m級の山々に囲まれ、壮大な自然を誇る天竜川上流域は、一方でその急峻な地形や脆い地質、全国平均を大きく上回る年間降雨量などから、過去多くの土砂災害に見舞われてきました。

天竜川上流河川事務所では、「土砂災害と闘ってきた伊那谷の人々の暮らし」や「伊那谷地域の砂防事業の意義と役割」をテーマに「キャンプ砂防2020 in天竜川」を開催します。

## キャンプ砂防2020 in天竜川 概要

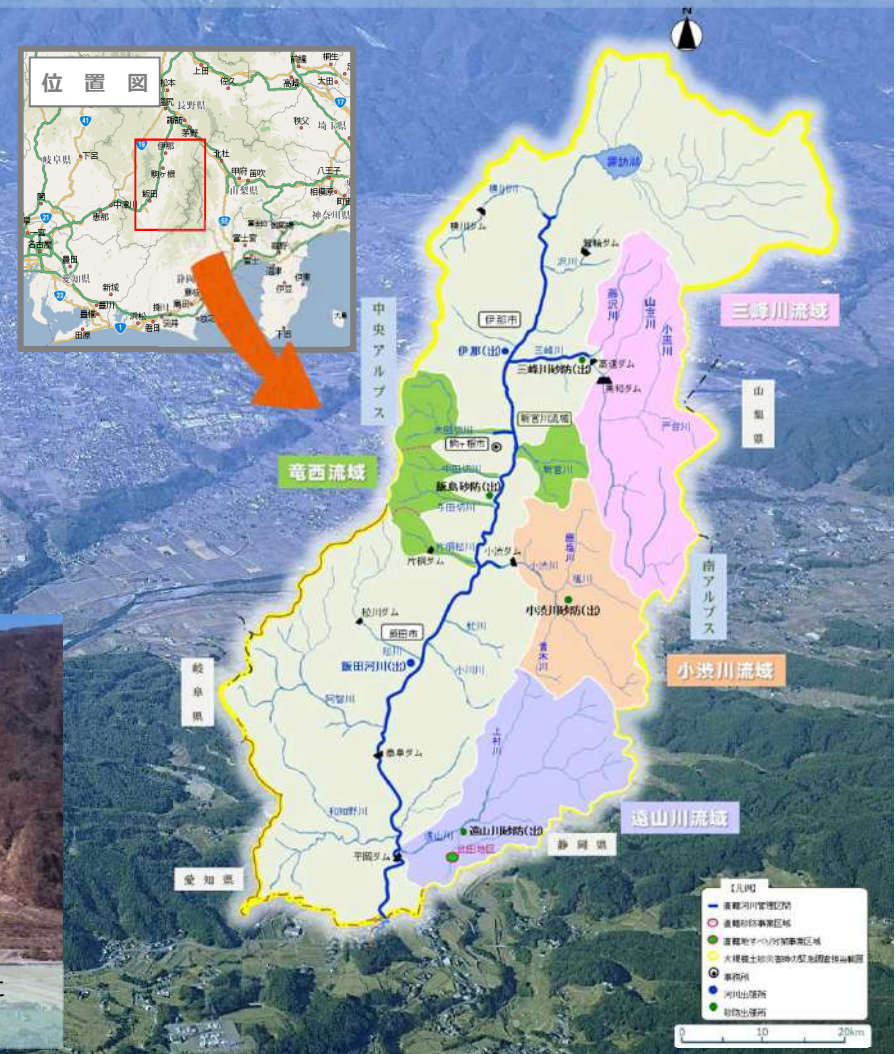
開催日程：8月3日（月）～8月7日（金）

テーマ：中央・南アルプスに育まれた南信州の自然や文化に触れながら砂防について学ぶ。

## キャンプ砂防2019 in天竜川 キャンプ生の声（レポートより一部抜粋）

○多くの現場に行ったことで、砂防施設の大きさ、効果、作られ方が体験する形で身についた。

○ドローンなどのUAVやICT技術など、現場で導入されている最新技術を学ぶことできた。



水辺空間の利用や景観を考慮した太田切床固工群



昭和36年豪雨により崩落した大西山

# キャンプ砂防2019 in天竜川 (昨年度)

2019  
8/5 ▶ 8/9

## 実施内容

1 日 目	天竜川上流河川事務所	砂防FM(太田切川)	中田切砂防堰堤工事現場	南木曾町役場・梨子沢	
	 <p>開講式</p>  <p>砂防事業概要(事務所長)</p>	 <p>降雨体験</p>	 <p>コンクリート打設&amp;ドローン操作体験</p>	  <p>溪流点検(砂防TEC-FORCE)演習</p>	
3 日 目・4 日 目 (前半)	木曾駒ヶ岳	小渋川砂防出張所	歌舞伎の里大鹿(道の駅)	塩川床固工群工事現場	塩川第2砂防堰堤工事現場
	 <p>源頭部調査</p> <p>詳細は別紙にて</p>	 <p>地すべり解説</p>	 <p>大西山崩壊跡地見学</p>	 <p>石張護岸工事見学</p>	 <p>透過型砂防堰堤工事見学</p>
5 日 目	現場事務所(黒川)	屋合沢砂防堰堤工事現場	黒川溪流保全工事現場	天竜川上流河川事務所	
	 <p>ウェアラブルカメラとは</p>	 <p>工事安全パトロール体験</p>	 <p>ICT施工とは&amp;操作体験</p>	 <p>閉講式</p>	

キャンプ砂防2019 in天竜川 修了生 : 名古屋大学大学院生 1名、筑波大学生 3名 計 4名



# 木曾駒ヶ岳 源頭部調査



キャンプ砂防3・4日目の行程は木曾駒ヶ岳での源頭部調査を実施しました。はじめはロープウェイから木曾駒ヶ岳の急峻さを俯瞰で確認しました。途中、多くの滝も見られました。

## 調査1日目

菅の台



千畳敷



馬の背



馬の背・崩壊箇所



約2万年前の氷期にできたといわれる千畳敷カールを自分の足で登った後、尾根を歩きながら地質を調査しました。主に風化した花崗岩でできている木曾駒ヶ岳では、いたる所で崩壊箇所が確認できました。調査1日目の終わりに、濃ヶ池へ向かいました。中央アルプスで、氷河湖が現在でも残っているのはここだけであり、約2万年の長い間水をたたえてきた濃ヶ池の神秘を感じました。

## 調査2日目

濃ヶ池分岐付近



濃ヶ池



中岳



伊那前岳付近



調査2日目は、早朝の澄んだ空気の中、中岳から辺りの山々を見渡しました。中央・南・北アルプスや富士山、八ヶ岳連山や御嶽山などが一望できたとともに県土の約8割が森林である長野県の特徴が体感できました。最後に立ち寄った伊那前岳では、地質が変わり花崗岩から閃緑斑岩が多く見られ、植生も花崗岩帯と大きく変わっていることが確認できました。



木曾駒ヶ岳では、非常に豊かな生態系も確認できました。とくに、コバイケイソウの白、ミヤマキンバイ・シナノキンバイの黄色が千畳敷一面に広がり、とても美しかったです。